

「継承語教育を考える」

■ 講演会 ■

第一部：米国における継承語教育：アドボカシーと連携の大切さ
—日本における継承語教育への示唆—

第二部：トップダウンの教育方法としての内容重視のアプローチについて
—効果をあげる教育のストラテジーとは—

■ ワークショップ ■

「継承語教育における教材作成」個別化教授法とスキャフォールディング
—教室内の多様な学習者への指導例と教材作成—

日時

【講演会】

1月11日（土） 13:00～16:00

【ワークショップ】 *定員40名

(受付12:30～)

1月12日（日） 10:00～15:30

※講演会とワークショップいずれかのみでもご参加いただけます。 (受付9:30～)
※ワークショップご参加の方へ：

- ①ワークショップのため、実際にご使用の教科書や読解教材(新聞記事等の生教材を含む)をご持参ください。
- ②できるだけPCをご持参ください(Free Wi-Fiあり)。

場所

【講演会】 国際基督教大学 本部棟2階 206号室

【ワークショップ】 国際基督教大学 本館1階 170教室

講師

ダグラス 昌子氏(カリフォルニア州立大学ロングビーチ校)

■ 講師プロフィール ■ ダグラス昌子(DOUGLAS Masako) Ph.D

***参加無料**

【現職】 カリフォルニア州立大学ロングビーチ校
アジア・アジアン-アメリカン学研究学部 名誉教授

【専門領域】 カリキュラムデザイン、継承日本語の習得と発達、外国語としての日本語と
継承日本語のリテラシー

【主要著書】

ダグラス昌子.2019.外国語学習者と継承日本語学習者の混合日本語クラスでの指導.近藤ブラウン妃美,坂本光代,西川朋美(編)『親と子をつなぐ継承語教育』くろしお出版.pp.160-174.

■ お申込はこちらのURL/QRコードから ■

<https://bit.ly/38b4BYn>



講演内容概要

【講演会】

第一部：米国における継承語教育：アドボカシーと連携の大切さ

移住者の国である米国では、親と子の世代をつなぎ、2つの国とその文化をつなぐ役割をになう継承語の教育はどのようになされてきたのでしょうか。また、今後日本で増える移住者の子ども達の継承語教育はどのようになされるべきでしょうか。米国の継承語教育の歴史、現状、そして課題を分析しながら、今後の日本での継承語教育をいっしょに考えていきましょう。

第二部：トップダウンの教育方法としての内容重視のアプローチについて

外国語のコースでは、教科書を使って語から単文、複文、そして段落へ積み上げていく、いわゆるボトムアップ式を使って、同じ内容を同じペースで学ぶという方法がとられています。けれども、この教え方ではすでに日常のコミュニケーションがある程度できて、すでに習得している語彙、文法にバリエーションがある継承語学習者がその言語力を土台にして学習を進めることがむずかしくなります。継承語教育の研究では、まず学習内容の理解を第一とし、その後必要に応じて語彙や文法の細かいところを補っていくトップダウン式が提唱されています。トップダウン式では言語は内容を学ぶときの道具として使う中で習得されるというふうに考えるので内容重視のアプローチを言われています。第2部では、内容重視のアプローチで学んだときの学習効果についての研究結果を元に、必要な学習活動についていっしょに考えていきたいと思います。

【ワークショップ】

ワークショップでは、内容重視のアプローチを言語力に差がある学習者がいるクラスで使う場合に必要な学習のストラテジーを紹介し、それらを学習者の言語力にあわせて適宜使用して教材を作ります。当ワークショップはこの2つの学習目標をめざします。

1. 内容重視のアプローチを言語力に差がある学習者がいるクラスで使う場合に、学習効果を高めるために、個別化授業（Differentiated Instruction）と学習を支援するためのスキヤフォルディング（足場作り）という2つの指導上のストラテジーの説明ができるようになる。
2. このストラテジーを使って、教材を作る（あるいは現在使っている教材を改良する）ことができるようになる。

【講師】ダグラス 昌子氏

主要論文/著書：

ダグラス昌子.2019.外国語学習者と継承日本語学習者の混合日本語クラスでの指導.近藤ブラウン妃美,坂本光代,西川朋美（編）『親と子をつなぐ継承語教育』くろしお出版.pp.160-174.

Douglas, M. 2019. Recognition of Japanese as a Heritage Language (JHL) in Education: A successful orchestrated global effort by JHL educators, researchers, and parents. National Coalition of Community-Based Heritage Language Schools. <https://www.heritagelanguageschools.org/media/files/Japanese-Connections-Masako-Douglas-Updated-6.24.19-uj-tow.pdf>

Douglas, M. 2017. Assessing the Effectiveness of Content-Based Language Instruction (CBLI) in Japanese at the College Advanced Level. Japanese Language and Literature, 51(2), 199-242.

ダグラス昌子.2010.『けん・けん・パ』継承日本語1-2年教科書.オレンジコースト学園